

## 2 年家庭分野

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>発表や発言の内容</li> <li>作業への取り組み</li> <li>プリントやポートフォリオ</li> <li>自己評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品</li> <li>課題解決行動</li> <li>道具の使用状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品レポート</li> <li>課題解決行動</li> <li>定期テスト</li> <li>作品</li> <li>実習</li> <li>定期テスト</li> <li>道具の使用状況</li> </ul>

### 評 定 の 目 安

- 各観点における絶対評価（ＡＢＣ）に基づきながら５段階に配分します。（Ａは満足できる状態、Ｂは各単元の目標を達成できた状態、Ｃは目標やねらいが達成出来ず不十分な状態。）
- 授業への関心・意欲・態度、課題レポート、技能、ファイルの内容、定期テスト等が評価対象となりますので、一つ一つの取り組みを着実にいきましょう。

学習の内容(70時間扱い)※定期テストが年1回実施されます。

学 月	単 元 名 ・ 教 材 名	学 習 の 内 容
後 期	11 快適に住まう」 ・住まいのはたらき	・住まいのはたらきを理解し、自分の生活に重ねて考えることができる。
	12 ・住まいの安全	・家族によって住まい方が違うことがわかる。
	1	・安全を考えた住まい方を工夫することができる。 ・健康に配慮した室内環境を考え、工夫できる。
	2 ・持続可能な住生活	・非常時の備えがわかる。
	「家庭生活と消費」	・これからの住生活について考える。
	3 「商品の選択と購入」  「よりよい消費生活のために」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な物資やサービスを購入しながら生活をしていることをしり、消費の概念を学ぶ。</li> <li>・自分の消費行動を通して、商品の機能や安全性など様々な判断材料があり、よりよい選択について学ぶ。</li> <li>・消費者トラブルという身近な問題点を知り、よりよい消費生活について学ぶ。</li> <li>・消費者の権利と責任の意識に気づき、自分の消費行動を考える。</li> <li>・消費者を支える法律や機関が設けられていることを知る。</li> </ul>